

初雪が観測され、冬の訪れを感じる季節となりました。急な気温の低下に体調を崩さないよう心がけましょう。県内では、インフルエンザ等感染症が流行していますので、感染対策に気をつけてください。

今回は、伝染性紅斑について、母子保健事業の評価に関すること、市町村から寄せられた問い合わせ等についてお伝えします。



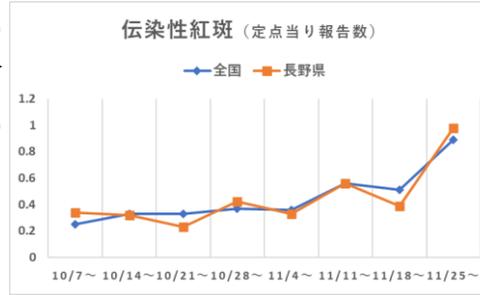
長野県PRキャラクター「アルクマ」  
©長野県アルクマ

..... 伝染性紅斑の注意喚起について .....

伝染性紅斑（「リンゴ病」とも呼ばれる）の届け出が全国と同じく県内でも増加しています。妊娠中に感染し、胎児感染した場合、胎児の異常（胎児水腫）を起こす場合があります。基本的な感染症予防対策（手洗い・うがい・マスク着用）が大事になります。小さいお子さんがいる家庭や妊婦さんへの声かけをお願いします。

※12月6日付 ども家庭庁成育局母子保健課、厚労省感染症対策課事務連絡 伝染性紅斑に関する情報（厚労省HP等に掲載）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/fifth\\_disease.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/fifth_disease.html)



（感染症発生動向調査から）

..... 母子保健事業の評価に関すること .....

母子保健技術研修会Ⅱに参加されなかった方もおられますので、「母子保健事業実施状況調査（令和4年度）」と「乳幼児健康診査（1歳6か月児健康診査）アンケート調査結果」（令和6年10月に実施）から、県内の状況をお伝えします。

母子保健事業実施状況調査結果から

健診の評価体制について	市町村数
健診の目標値や指標を定め評価をしている	51 (66.2%)
疾病スクリーニングの精度管理をしている	20 (26.0%)
地域の健康度の経年変化、保健指導の効果を評価している	32 (41.6%)

未受診者の状況	市町村数
こどもに直接会うなど把握方法を決めている	59 (72.7%)
他部署などと状況を把握する方法を決めている	57 (76.6%)

まずは、優先度の高い課題（例えば、乳児股関節スクリーニング、眼科検診での要精検者・率）を算出して経年評価することから始めてみるのはいかがでしょうか。

「いつ」「だれが」「どんな方法で」確認するのか、保健部署と子ども福祉部署とお互いに声を掛け合いながらお願いします。保健部署以外の「どうも様子が、、、」などの情報の行き来ができることが 地域保健活動のネットワークにつながる重要なことです。

乳幼児健康診査事業に関するアンケート調査結果の概要

ご協力ありがとうございました

1 乳幼児健診の評価体制について

○健診従事者で共有するマニュアル作成



2 乳幼児健診時の判定について

○保健指導の前に「気になる親子」の複数の専門職による相談について



○保健指導における判定区分の有無



3 事後カンファレンスについて

○事後カンファレンスの所要時間



4 個別の評価について

○支援対象者ではない「気になる親子」の再アセスメントについて



保健指導の判定区分を設けることで経年変化を追うことができ、評価にもつながります。

“気になる親子”の再アセスメント時期や方法を決めていない所（14市町村）もありました。

・年度末の事業のまとめに向けて、今年度の乳幼児健康診査及び母子保健事業の振り返りを行うと共に、評価体制の確保や確立に向けた検討も併せてお願いします。 (令和6年12月信州母子保健推進センター発行)



5歳児ポータルについて

5歳児健診の流れがわかる動画、自治体規模毎の取り組み例、医師向けの健診診察方法が掲載されています。各市町村で実施されている5歳児相談や保育園等の健診を活かしつつ、どう取り組みを進めるかの参考になる内容です。

※ 5歳児ポータルサイト <https://gosaiji-kenshin.com/>

令和6年度補正予算(母子保健対策関係)について

事業名	目的
「 <b>遠方の産科医療機関等で受診する妊婦健診時にかかる交通費支援</b> 」	遠方の産科医医療機関で妊婦健診を受診する際の交通費助成を行い経済的負担軽減を図る。

※令和6年度新規事業「妊婦に対する遠方の分娩取扱施設への交通費及び宿泊費支援事業」(補助率:国1/2、市町村1/4、県間接1/4)を実施されている市町村は、併せて検討ください。

母子保健に係るデジタル化について

デジタル庁や子ども家庭庁では、マイナンバーカードの母子保健分野への利活用に向けた動き、母子保健のデジタル化推進に向けた動きが進められています。

来年度以降の事業実施に際して、民間事業者の電子アプリ等を活用するなど、デジタル化に向けた取り組みを検討している市町村の状況もお聞きしています。下記の問い合わせを参考に先を見据えつつ検討をお願いします。



市町村からの  
お問い合わせ

民間事業者のアプリ導入(電子母子手帳アプリ\*や医療相談アプリ)を考えている。母子保健対策強化事業と利用者支援事業、どちらが補助金申請する際に該当しますか。

(回答) 令和6年度は母子保健医療対策総合支援事業実施要綱の「10 母子保健対策強化事業」の事業内容(1)母子保健に関するデジタル化・オンライン化等対策強化事業に該当しますので、母子保健衛生費国庫補助金の活用をご検討ください。

※令和7年度新設、利用者支援事業(妊婦等包括相談支援事業型)の該当になるかは、現時点では実施要綱が出ていないため詳細は不明です。

\* 電子母子手帳アプリ例:母子モ、ママリなど。



市町村からの  
お問い合わせ

令和7年度から、1か月児健康診査を実施する予定。それに伴い、健康管理システム改修費用が発生する。活用できる補助金はありますか。

(回答) 令和6年度は母子保健医療対策総合支援事業実施要綱の「10 母子保健対策強化事業」の事業内容(1)母子保健に関するデジタル化・オンライン化等対策強化事業に該当しますので、母子保健衛生費国庫補助金の活用をご検討ください。

センターで予定している研修会等

	開催日	内容
母子保健専門研修会Ⅲ (県立こども病院と共催)	令和7年1月17日(金)(予定)	幼児期から始める生活習慣病対策
市町村等情報交換会	令和7年1月28日(火)(予定)	こども家庭センターにかかる情報交換

-----\*\*\*-----\*\*-----\*-----\*\*-----\*\*\*-----

お読みいただいたご感想・ご意見をお寄せください。お待ちしております。

担当圏域	母子保健推進員	連絡先
佐久・上田・長野・北信	森 谷	長野県庁 保健・疾病対策課 026-235-7141(直通電話)
諏訪・伊那・飯田・木曾・松本・大北	嶋 田	